

## シリーズ「放課後子ども教室推進事業」

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載））

### 【第23回】

#### 葛城市「放課後子ども教室」の取組

奈良県葛城市教育長 大西 正 親 （元葛城市立新庄小学校校長）

葛城市は県中西部に位置し、葛城山・二上山東麓<sup>かつらぎ にじょう</sup>に広がる文化と歴史の香る自然豊かな地域です。放課後子ども教室（以下「教室」という。）は市内5つの小学校で、平成19年9月より実施しています。

「教室」の企画・運営は市教育委員会生涯学習課が担当し、学校は円滑な「教室」運営のための優先的な施設・設備提供とともに、教頭を窓口とした実施日変更の通知等、主に連絡・調整的な役割を担います。

各校とも第3学年以上の希望者を対象に定員20名とし、①楽しい活動を通して生活への意欲を高める、②地域への関心を高め、郷土を愛する心を育てる、③学習習慣を身につける、の3点を目標に掲げます。水曜日30回、夏期休業中5回の年間35回で、児童会室、多目的室、図書室等の特別教室を主に活用します。

招聘する講師と「教室」スタッフ（コーディネーター、学習指導員、安全管理員）が指導者となって各々プログラムを用意し、前者は理科実験、郷土・地域の歴史・文化・産業、童謡、手話、食と健康、囲碁、軽スポーツ、マジック、ペーパークラフト等を中心に、後者は折り紙、ゲーム、運動、凧づくりなどの工作、写生、学習補充等の指導を工夫して行っています。

参加した子どもたちからは、「学校で体験できない活動が楽しく面白い」、「話題が増えて、家族との会話も弾む」といった声を多く聞きます。また、保護者からは、「異年齢児童と交流して様々な体験ができてよい」、「子どもから活動の様子を聞いて親も新しい発見ができる」、「多種多様の技能をもった人との出会いが貴重だ」等、嬉しい感想が続々と届いています。

今後も子どもたちの健やかな成長を願って、関係者の皆様とともに工夫を重ねたいと考えているところです。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第120号に掲載）